

担当課	健康福祉部児童課
-----	----------

交付対象事業名		保育所給食管理システム導入事業												
総合戦略での位置付け		重点戦略 5 DXで暮らしを豊かにする	事業費	計画額（円）		388,000								
				実績額（円）		343,860								
事業目的・概要		<p>【目的】</p> <p>システムの導入によって献立表をデジタル管理し、献立表内の食物アレルギーチェックをプッシュ型へ変更することで、保護者と保育士の負担を軽減すると同時に誤食リスクの低減を図り、園児により適切で安心・安全な給食の提供が可能となる。発達の違いがある園児や痩せ・肥満児等の成長記録をシステムによって管理することで、経年による成長の変化を確認することができ、保護者に対する栄養指導や栄養相談に繋げることで、育児に対する不安や悩みを解消し、園児の健全な成長を促すことが可能となる。</p> <p>【概要】</p> <p>保育所給食の献立表をデジタル作成することで、献立表やアレルギー園児に対するチェック表をデジタル配信する。保護者は外出先においても献立表の確認が可能となり、献立表に対するチェック表の作成を保護者が作成する必要もなくなる。</p> <p>また、連絡システムによって24時間連絡が可能であることから、閉園後や土日・祝日においてチェック結果を回答することが可能となる。</p> <p>発達の遅れがある園児や痩せ・肥満児等の成長記録をシステム管理することで、経年による成長の変化を把握し、保護者に対する栄養指導や栄養相談に活用する。</p>												
主な成果		保護者による食物アレルギーチェック表の作成数と、作成に係る所要時間を短縮することができ、保護者の負担軽減につながった。保育所においてもアレルギーチェック表が見やすくなったとの声がある。また、栄養ケアが必要な園児の栄養指導・栄養相談回数を増やすことができた。												
重要業績評価指標 (KPI)		指標（単位）	基準値	2024年度		2025年度		2026年度						
				目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	
		保護者による食物アレルギーのチェック表作成数（回）		960	354	40		20						
		栄養ケアが必要な園児の栄養指導・栄養相談回数（回）		45	45	60		75						
		保護者による食物アレルギーのチェックに係る所要時間（時間）		240	28.8	10		5						
		保育所給食管理システムの利用満足度（ポイント）		3.2	4.6	3.6		4.0						
事業効果		効果	②実装したデジタルの活用が地域の課題解決や魅力向上にある程度貢献した。											
		理由	保護者へのアンケートや保育士への聞き取りから、アレルギーチェック表をデジタル配信することにより、チェック作業の時間短縮など、負担軽減につながっているという結果が出ており、栄養ケアが必要な園児に対する栄養指導・栄養相談を記録を残しながらきめ細やかに行えるようになったことで、食事の面での育児の不安や悩みの解消につながれたと考えられるため。											

〈選択肢〉

- ①実装したデジタルの活用が地域の課題解決や魅力向上に大きく貢献した。
- ②実装したデジタルの活用が地域の課題解決や魅力向上にある程度貢献した。
- ③実装したデジタルの活用が地域の課題解決や魅力向上にわずかに貢献した。
- ④実装したデジタルの活用が地域の課題解決や魅力向上に繋がらなかった。

今後の方針	方針	③事業の継続
	理由	給食管理システムを活用しながら、引き続き公立保育所と連絡を密にし、栄養相談・指導に繋げていく。外国人保護者にもデジタル配信で対応できるよう進めていく。また、保護者によるアレルギーチェック表の確認・返信にかかる時間をより短縮できるよう、状況の把握と改善策を保育所と共に議論を進めていく。

〈選択肢〉

- ①追加等さらに発展させる
- ②事業内容の見直し（改善）
- ③事業の継続
- ④事業の中止
- ⑤予定どおり事業終了

外部有識者からの評価	意見	・本事業は、園児の健康と安全を守りつつ、保護者と保育士の負担を軽減する点で大きな意義がある。 ・導入初年度として一定の成果を収めており、今後は利用定着や個別対応の充実、情報管理の強化を進めることで、より質の高い保育環境の実現につながることが期待できる。
------------	----	---